

令和5年度 墨田区立錦糸小学校 学校経営方針

墨田区立錦糸小学校長 高山 幸

めざす児童像

- 学び合い、認め合い、高め合う子
- 自ら取り組み、解決に向けて最後までやりぬく子
- 健康で安全な生活を心がけ、体をきたえる子

めざす学校像 たがいに信頼しあえる学校

- 児童 : 安心して通え、**児童自身がもつ力を十分に発揮**できる学校
教師 : 教師が協働し、**児童のためにもてる力を十分に生かせる**学校
保護者 : 児童の**成長を実感**できる学校
地域 : 地域と学校との**結びつきを感じられる**学校

めざす教師像

- 「わかる授業」「楽しい授業」を追究し工夫する教師
- 子供の思いを受け止め、一人一人のよさや個性を伸ばす教師
- 教師としての自覚をもち、保護者・地域から信頼される教師

1. 多様性を認める学級集団・学年集団づくり

- ・外国につながる児童の割合の変化
- ・就学前機関や集団生活経験の多様化
- ・児童一人一人に対する教育的ニーズの多様化

2. 錦糸小らしさの継承

- ・地域素材や地域人材等の、身近な社会から課題を見出し価値に気づき、すすんで地域に関わろうとする児童

3. 学力向上

- ・授業規律の確立 ・読書活動の充実
- ・子供を主語にする授業
- ・基礎的な学習事項の習熟と定着
- ・タブレット端末の効果的活用

4. 豊かな心

- ・返事・あいさつ・適切な言葉遣い
- ・道徳教育を中心に学ぶ思いやりの心

5. 健康・体力向上

- ・適切な健康管理（自分の体を知る）
- ・授業の中での体力づくり

教育目標

- ◎おたがいを大事にする子 ○さいごまでやりとげる子
- すすんで学習する子 ○からだをきたえる子

学校経営の柱

- 「多様性・協働性・創造性を育む豊かな教育活動の推進」
～よさを認め合い・ともに学び・自信へとつなげる錦糸の子～
- 児童が、自分にも誰にもよいところを見つけられる教育
 - 児童が、友達と協働する楽しさを感じられる教育
 - 児童が達成した喜びを実感できる教育

令和5年度の重点課題

- (1) 特別支援教室を軸とした、特別支援教育の充実
 - ・児童の実態把握と困難性の改善・克服をめざす明確な指導目標の設定
 - ・特別支援教育理解促進のための校内 OJT の充実
- (2) 指導力向上・授業改善
 - ・校内研究を中心に、主体的対話的で深い学びの視点に立った授業改善による、学びに向かう力や思考力・判断力・表現力の育成
 - ・45 分間の中で「導入・展開・まとめ」を意識した授業の構築
 - ・研修や相互授業参観等による OJT の充実
- (3) 児童・保護者・地域・学校でお祝いする、開校 105 周年
 - ・地域素材・地域人材を活用した教育活動の一層の推進
 - ・「開校 105 周年記念行事」を通じた愛校心・地域愛の醸成

個別最適な学び

- ・基礎学力の定着を図るとともに、タブレット端末等を活用した「一人一人の学びの実態」に応じた指導の展開
- ・自分事として捉える課題と出会い、一人一人が捉えた課題の解決に向けた、探究的な学習の充実
- ・主体的に学ぼうとする児童の意欲を育み、「学びの自己調整力」を高める授業の展開

協働的な学び

- ・多様な他者と協働的に学ぶ授業
- ・児童の学びの実態把握と変容・成長の評価
- ・教師のファシリテーション能力の向上

教員組織を生かした教育

- ・様々な課題（多言語、多文化共生、個別の教育ニーズ、保護者の思いや願い等）に共通認識・共通理解で指導にあたる教職員集団
- ・「誠実・迅速・継続」的な保護者対応
- ・教員一人一人の強みを生かす「チーム錦糸」

公教育に携わる者としての自覚

- ・法令を遵守する、公教育に携わる者としての自覚
- ・地域の中にある学校の教職員であることの自覚

保護者との連携

- ・積極的な発信による、教育活動の見える化